この資料は、本日の防災訓練・研修会用に作成したものです。

自主防災組織とは

変わる小城防災　災害に備えて

【小城高校防災講座】

～ 地域の情報を知り、災害に備えましょう!! ～

防　災　対　策　課

小城市

令和６年７月２５日（木）

自主防災組織とは？

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分で守る」という、地域住民の連携に基づき、結成される防災組織のことで、災害の発生時に、住民が連携を取り、互いの身を守るための防災活動を行います。

本日の内容

- １.小城市での地震
- ２.令和元年8月の大雨時における状況
- ３.キキクル（危険度分布）について
- ４.平常時・避難時の心得について
- ５. 自主防災組織とは

小城市でも大きな地震が起きるかもしれません

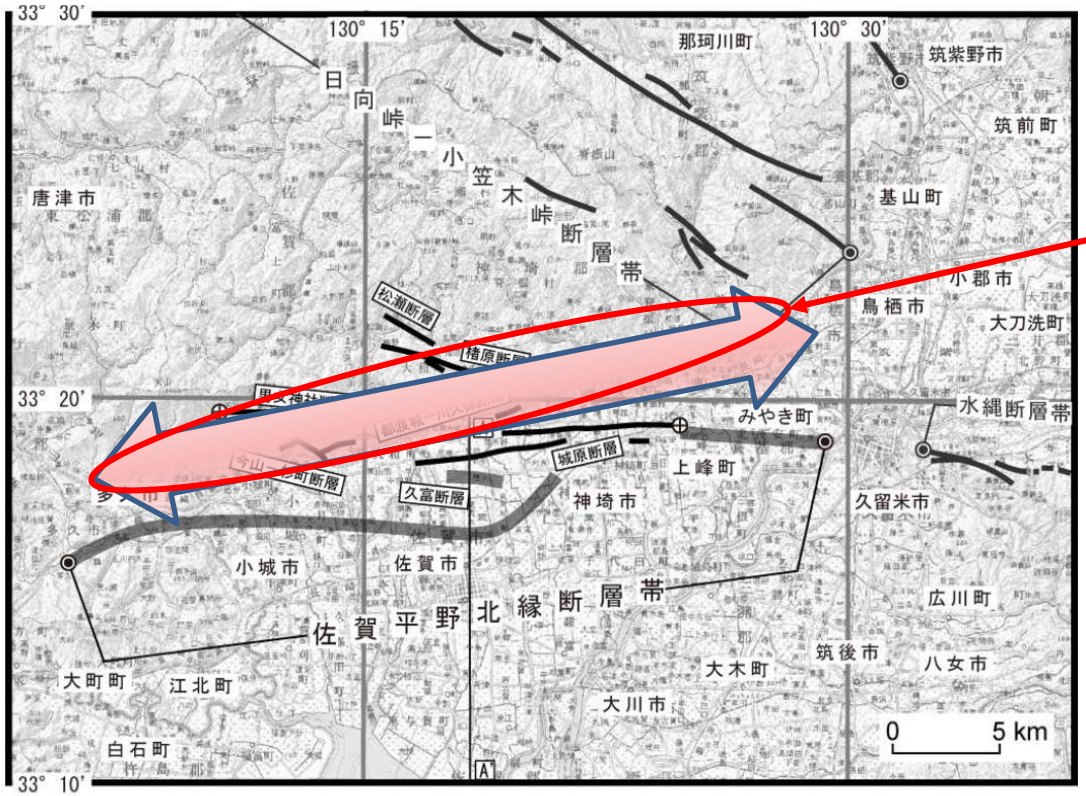


図2　佐賀平野北縁断層帯の地表における詳細位置と主な調査地点

佐賀平野北縁断層帯

複数の活断層から構成

地表：約２２ｋｍ 地下：３８ｋ

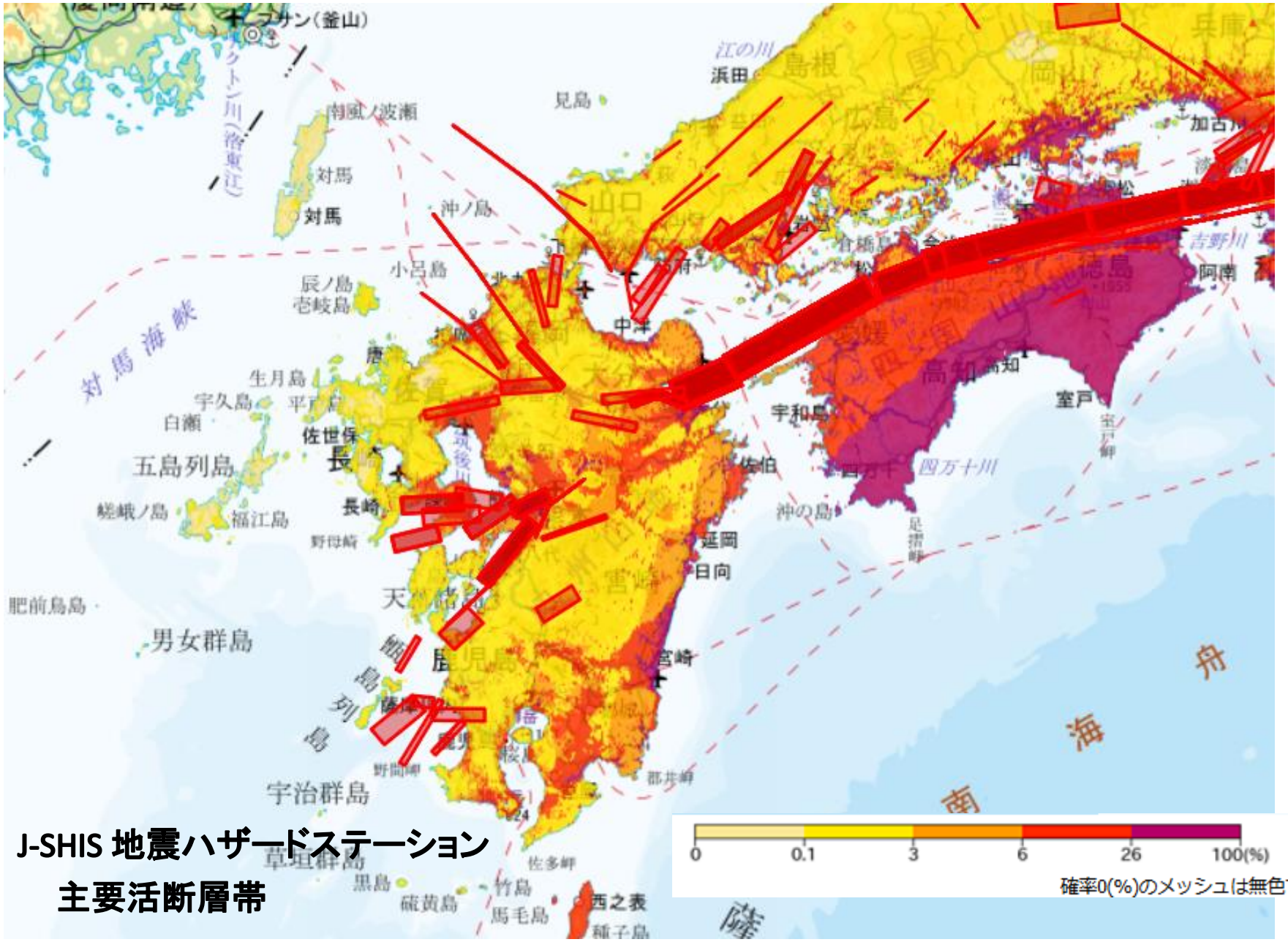
（お隣の多久市から神埼市まで）

活断層とは、過去に繰り返し活動し将来も活動することが推定される断層のことです

（地震調査研究推進本部用語集）

（出典）国の地震調査研究推進本部作成

全国地震動予測地図



J-SHIS 地震ハザードステーション
主要活断層帯

地震の被害想定結果一覧表：小城市

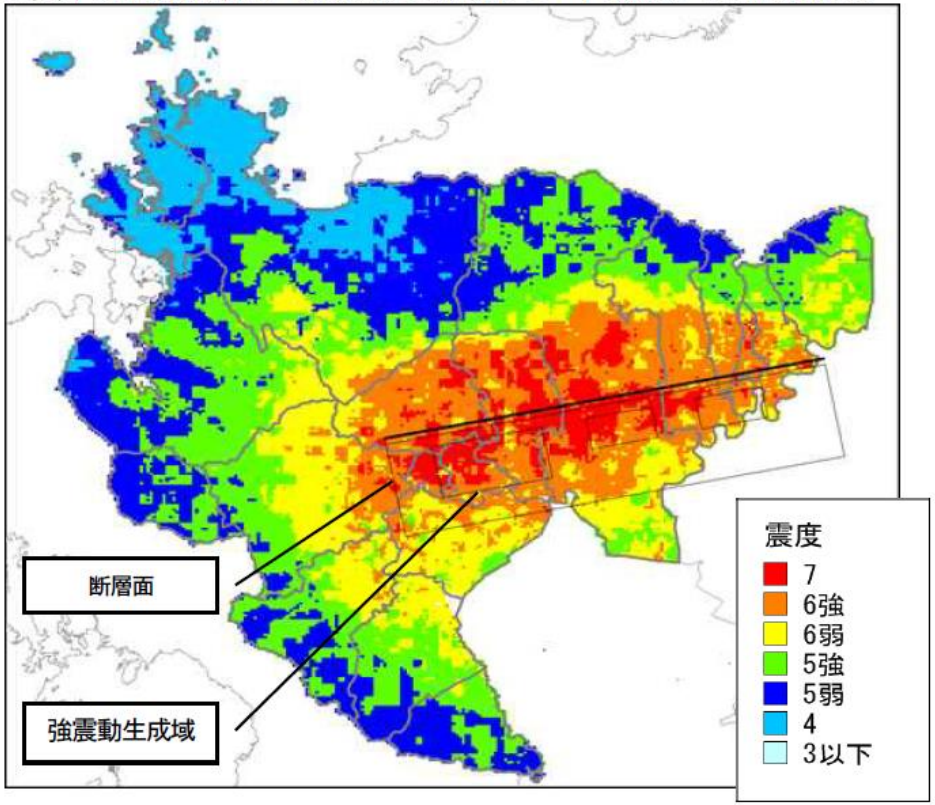
被害項目 ＼ 震源断層 ／ 季節・時間			佐賀平野北縁断層帯 ケース4		
			冬深夜	夏12時	冬18時
建物被害	建物棟数（棟）		25,000		
	全壊・焼失棟数（棟）		約8,200	約8,300	約8,500
	全壊・焼失率（%）		33	33	34
	半壊棟数（棟）		約5,800		
	半壊率（%）		23		
人的被害	滞留人口（人）		45,000	38,000	41,000
	死者数（人）		約550	約270	約440
	死者率（%）		1.2	0.7	1.1
	負傷者数（人）		約2,000	約1,700	約1,700
	負傷者率（%）		4.4	4.5	4.1
	自力脱出困難者数（人）		約1,200	約740	約890
	自力脱出困難者率（%）		2.7	2.0	2.2
ライフライン	電力	電灯軒数（軒）	約18,000		
		停電軒数（軒）	約1,400	約1,500	約1,[illegible]00
		停電率（%）	8	8	10
	上水道	給水人口（人）	46,000		
		断水人口（人）	約44,000	約44,000	約44,000
		断水率（%）	96	96	96
	下水道	処理人口（人）	20,000		
		機能支障人口（人）	約4,[illegible]00	約4,500	約4,[illegible]00
		機能支障率（%）	22	22	23

全・半壊焼失棟（冬18時）
14,300棟（約2/3）

死傷者2,550人（冬深夜）
（約20人に1人）

自力脱出困難者約1,200人（冬深夜）

≪佐賀平野北縁断層帯（強震動生成域３つ・西側大）による地震≫



小城市地域防災計画から

小城市ハザードマップ　P19

液状化危険度が高くなる面積が広い市町：震源断層ごと

表 3(2)-1　液状化危険度が高くなる面積が広い市町：震源断層ごと

震源断層	液状化危険度が「極めて高い」及び「高い」となる面積の割合	
	10%以上	10～2%
佐賀平野北縁断層帯 ケース３	佐賀市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町、上峰町、みやき町、大町町	多久市、江北町、白石町
佐賀平野北縁断層帯 ケース４		

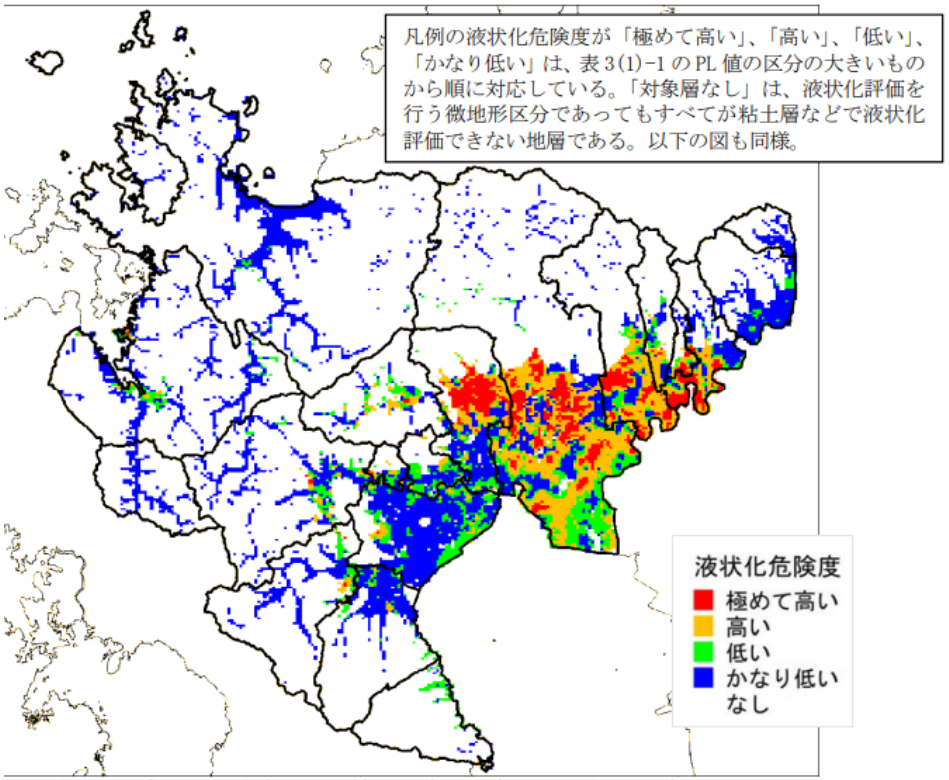


図 3(2)-1　液状化危険度の評価値の分布：佐賀平野北縁断層帯（ケース３）

震源断層の位置、想定される地震動については p. 6 の図を参照のこと。以下も同様。

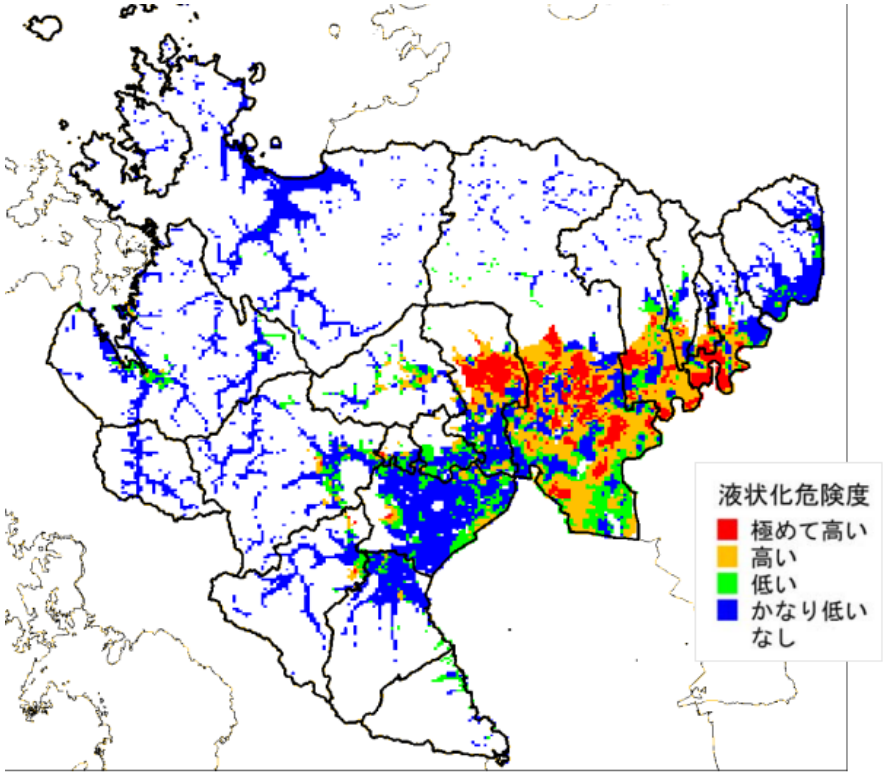


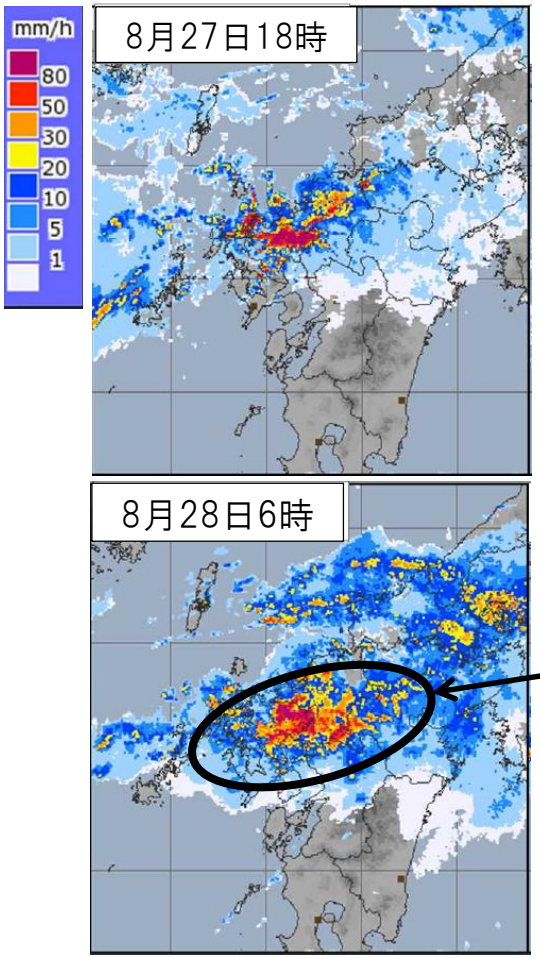
図 3(2)-2　液状化危険度の評価値の分布：佐賀平野北縁断層帯（ケース４）

２　令和元年8月の大雨時における状況

令和元年8月豪雨の概要について

〇8月27日（火）から、前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、長崎県、佐賀県、福岡県を中心に大雨となりました。

気象レーダー（注2）



〇8月27日（火）夕方及び8月28日（水）早朝の２回、前線による降雨が続き、佐賀県に大雨特別警報が出される豪雨となりました。

記録的短時間大雨（解析雨量）

28日04時00分から04時50分にかけて多久市、武雄市、小城市、江北町、佐賀市、大町町、白石町、神崎市、吉野ヶ里町付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上

（注２）
災害気象資料
ー令和元年８月２６日から２８日にかけての佐賀県・福岡県・長崎県の大雨についてー
令和元年８月２９日福岡管区気象台　より

（注１）
国土交通省作成

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

令和元年8月豪雨の一般被害状況

〇六角川では令和元年8月豪雨において、9箇所で河川からの越水が発生しました。浸水面積約6,900ha、浸水家屋2,936戸となる大規模な浸水被害となりました。

9月30日時点　国土交通省、佐賀県調べ

一般被害状況

	令和元年8月洪水
床上浸水家屋	1，132戸
床下浸水家屋	1，804戸
浸水家屋合計	2，936戸
浸水面積	約6，900ha

武雄市内　浸水状況

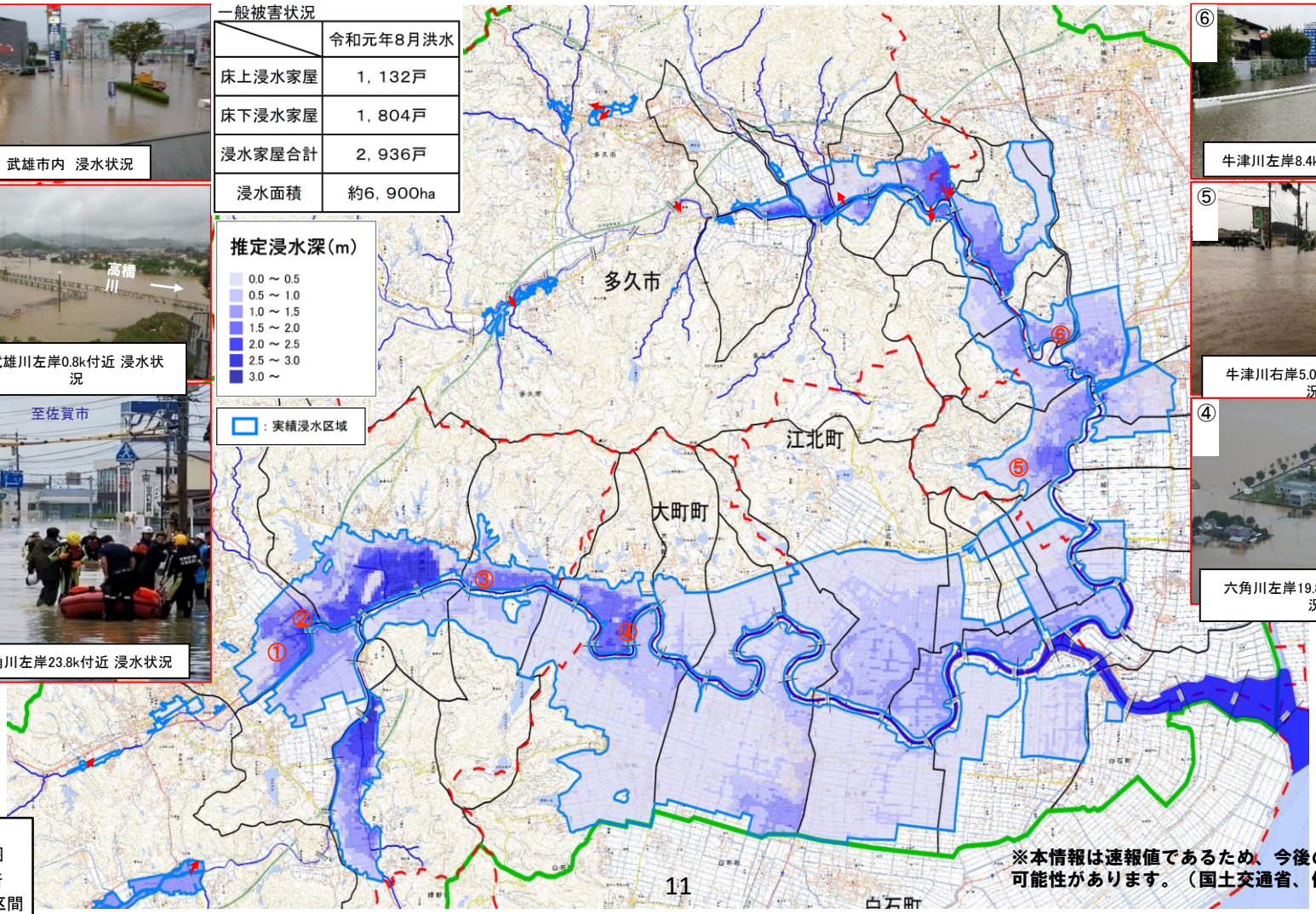
武雄川左岸0.8k付近 浸水状況

六角川左岸23.8k付近 浸水状況

牛津川左岸8.4k付近　浸水状況

牛津川右岸5.0k付近 浸水状況

六角川左岸19.8k付近 浸水状況



凡例
- 浸水範囲
- 越水箇所
- 大臣管理区間

※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。（国土交通省、佐賀県調べ）

SELIO
40

令和3年5月20日から

警戒レベル 4

避難指示（ひなんしじ）で必ず避難

避難勧告（ひなんかんこく）は廃止です

警戒レベル		新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保（きんきゅうあんぜんかくほ）※1	災害発生情報（発生を確認したときに発令）
～～＜警戒レベル４までに必ず避難！＞～～			
4	災害のおそれ高い	避難指示（ひなんしじ）※2	•避難指示（緊急） •避難勧告
3	災害のおそれあり	高齢者等避難（こうれいしゃとうひなん）※3	避難準備・高齢者等避難開始
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）	早期注意情報（気象庁）

※１ 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令される情報ではありません。
※２ 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※３ 警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保**の発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

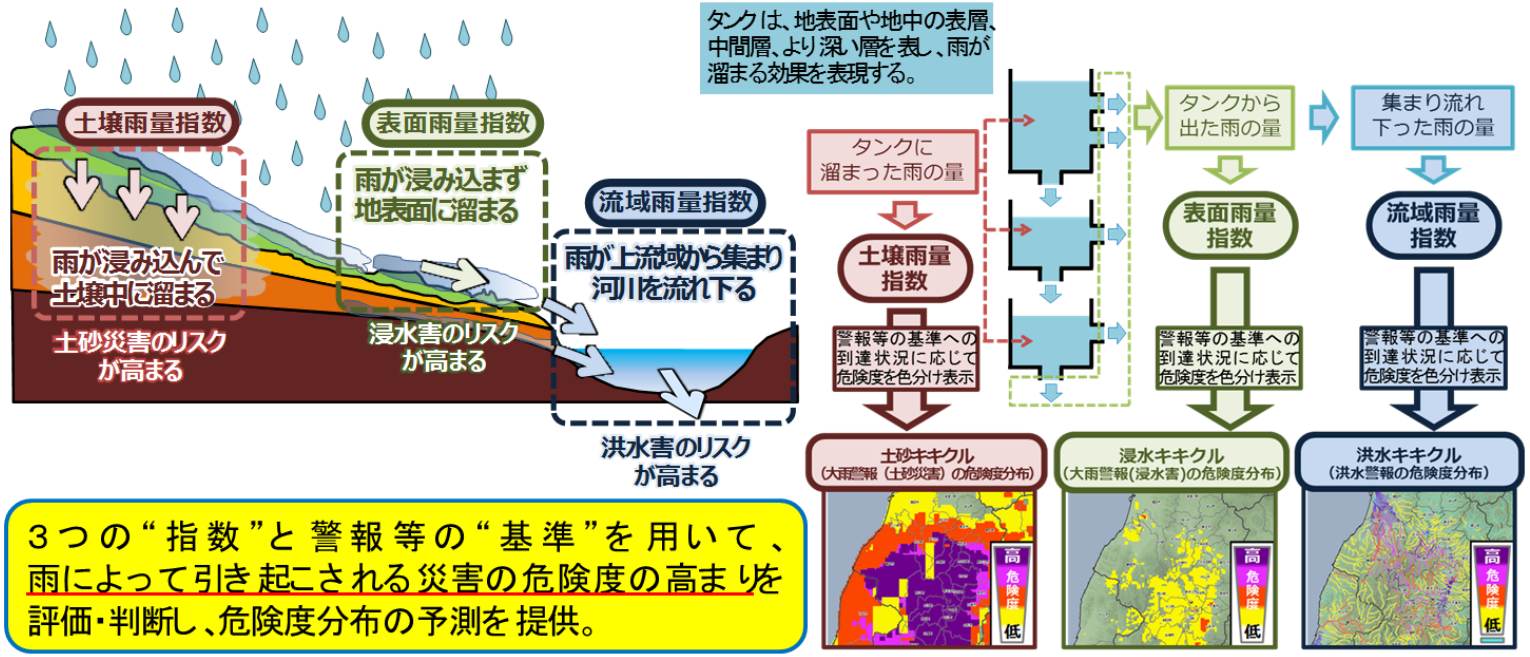
内閣府（防災担当）・消防庁

「キキクル（危険度分布）」

雨によって引き起こされる災害発生の危険度の高まりを評価する技術
土壌雨量指数・表面雨量指数・流域雨量指数と危険度分布

雨によって
災害のリスクが高まるメカニズムは
以下の３つが考えられる。

左のメカニズムを“**タンクモデル**”で表現し
各々の災害リスクの高まりを“**指数**”化し
警報等の“**基準**”への到達状況に応じて色分け表示。

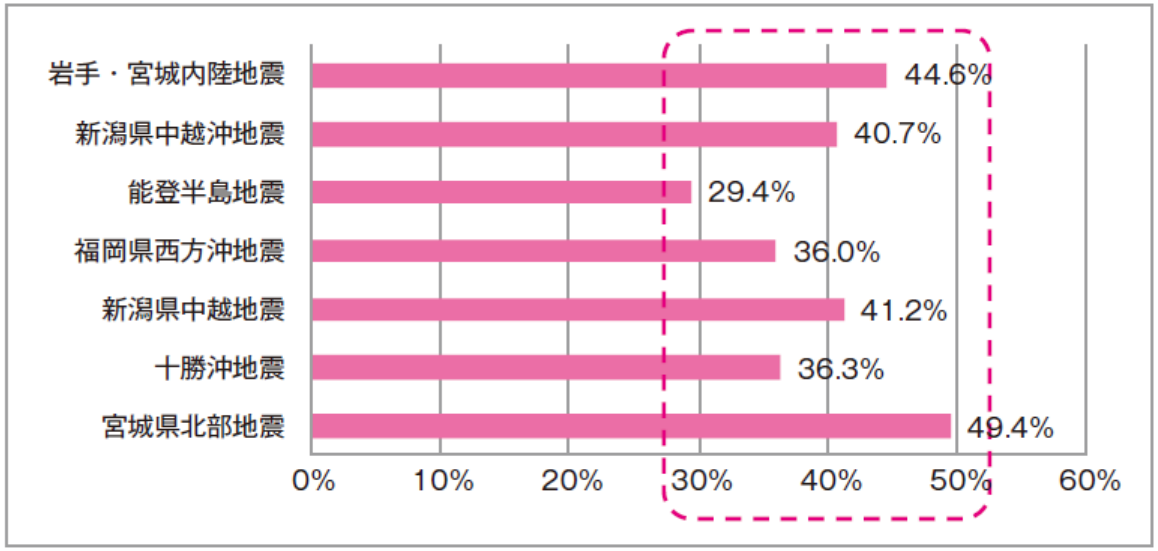


３つの“指数”と警報等の“基準”を用いて、雨によって引き起こされる災害の危険度の高まりを評価・判断し、危険度分布の予測を提供。

気象庁｜警報の危険度分布 (jma.go.jp)

６　平常時・避難時の心得について

地震時におけるけが
最大の原因は家具類の転倒・落下



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」より

準備するべきこと

- 動線を確保し、部屋に物を置かない
- 家具には転倒防止を
- 手助けが必要

家の補強

非常持ち出し品の準備

家具の固定

ブロック塀の補強

これらは例です

6 平常時・避難時の心得

非常持出品・備蓄品リスト

リストを参考に家族構成に合わせて非常持出品・備蓄品の準備をしましょう。

非常持出品

避難しやすいよう、できるだけコンパクトにまとめましょう。

●食料

- □飲料水（持ち運びに便利なペットボトル）
- □非常食
- □乾パン
- □アルファ米、レトルトご飯
- □缶詰（魚、野菜、果物など）
- □携帯食（チョコレート、キャンディなど）

●救急・安全対策

- □常備薬（胃腸薬、かぜ薬など）
- □包帯、ガーゼ、ばんそうこう
- □傷薬、消毒薬
- □持病のある方の薬
- □お薬手帳
- □マスク
- □ヘルメット
- □笛（ホイッスル）
- □地図（ハザードマップ）

●貴重品

- □現金（小銭）
- □預金通帳、印鑑、クレジットカード
- □健康保険証
- □マイナンバーカード、免許証など（身分を証明するもの）
- □家や車のスペアキー
- □連絡先を記入した手帳

●日用品など

- □リュックサック
- □ビニール袋
- □ティッシュペーパー
- □ウエットティッシュ
- □新聞紙
- □筆記用具（油性マジックなど）
- □ろうそく、ライター、マッチ
- □軍手、タオル
- □懐中電灯、ランタン
- □携帯ラジオ
- □電池
- □携帯電話の充電器・バッテリー
- □洗面用具、マウスウォッシュ
- □使い捨てカイロ
- □簡易トイレ
- □生理用品
- □缶切り、栓抜き
- □雨具（カッパ）
- □割り箸、使い捨て容器
- □ラップ、アルミホイル

備蓄品

家族が最低３日間は過ごせるように備蓄しましょう

- □飲料水（1人1日2～3リットルを目安）
- □非常用給水袋
- □非常食（缶詰、乾パン、レトルト食品など）
- □カセットコンロ、ガスボンベ
- □衣類（上着・下着など）
- □トイレットペーパー
- □スコップ
- □ロープ
- □ブルーシート
- □工具
- □ガムテープ

家族構成に合わせた準備

●乳幼児がいる家庭

- □粉ミルクとほ乳瓶
- □液体ミルク
- □軟水・清潔な水
- □ベビーソープ
- □離乳食
- □ガーゼ
- □おむつ
- □おもちゃ・絵本
- □お尻ふき
- □母子手帳

●妊婦がいる家庭

- □病院の診察券
- □分娩準備品（出産が近い場合）
- □ナプキン
- □お薬手帳
- □洗浄綿
- □毛布
- □母子手帳
- □着替え

●高齢者がいる家庭

- □食料品（水分が多く保存がきく物）
- □おむつ・紙パンツ
- □持病等の薬
- □お薬手帳
- □老眼鏡
- □入れ歯洗浄剤
- □身元の分かるもの

ローリングストック法

非常持出品・備蓄品として保管する非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ことで賞味期限を過ぎることがなく経済的です。

高齢者に必要な防災グッズ

- 持病の薬（お薬手帳）
- 老眼鏡・メガネ
- 成人用おむつ（普段は使用していなくても備える）
- 歯磨きシート
- 入れ歯洗浄シート（洗浄剤ではなく洗浄シートを備える）
- 折りたたみ式の杖（普段使用していない場合も備える）
- モバイルバッテリー（電池式がおすすめ）
- 電池（器具は同じ電池がつけえるのを用意（例単3等）
- 健康保険証やマイナンバーカード
- 貴重品（現金）
- 助聴器
- 簡易トイレ

自主防災組織は必要か

- 災害は、いつ何時発生するか分かりませんし、災害の規模によっては、公共機関による支援、救出、救護が期待できないことがあります。このような事態が発生したときに、地域内で災害時の要援護者となる高齢者、障がい者、介助の必要な方々に救助の手を差し伸べることができるのは、身近にいる地域のみなさんです
- 自主防災組織を結成し、災害時の地域における役割分担などの体制を整えておくとともに、災害時の要援護者、避難経路などの情報を共有化することで、一人でも多くの命を守ることができます。今後の防災対策は、地域のみなさんが行政や各防災機関と一緒に行っていくことが重要です

知識だけは命は守れません！

ご近所、親戚、知人

顔の見える関係を作ることも
大切です。